

国登録  
有形文化財

# 中原家 住宅

中原家住宅主屋

江戸後期〜明治時代  
小作人841戸を有する大地主

現在の主屋は、1860(万延元)年に建てられたもので、当主は現在28代目、先祖が漁業や水運業で財を成し、江戸後期〜明治時代に財力を背景に土地の集積、「乳ノ瀧」の開発を行



24代当主中原久成(藤蔵)



イギリス積みのレンガ塀

い、小作人841戸を有する大地主になりました。2018(平成30)年5月には、主屋、離れ、表門及び塀、籠子塀、裏門及び塀、煉瓦塀、イギリス積みが、国の登録有形文化財に登録されました。



邸内の竹林

お屋敷は約4,000坪(約13,200㎡)、建坪は約600坪(約1,980㎡)、部屋数25を有します。屋敷の裏庭には約1,000坪(約3,300㎡)の竹林を有し、春にはたくさんタケノコが収穫されます。

## 明治天皇と中原邸

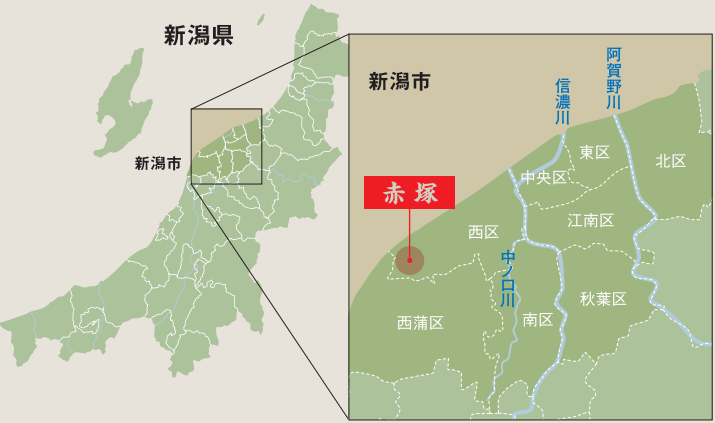
1878(明治11)年9月16日、明治天皇が北陸巡幸の際、ご昼食をとりました。明治天皇以外にも著名な人物も赤塚で昼食をとりました。中原邸には、明治天皇の玉座「上段の間」があり、一緒に付き添った土方久元の「明治天皇御小憩所旧跡」という書があります。表門の脇には、明治天皇北陸巡幸の行在所の石碑と高札がありました。戦後間もなく進駐軍が来ると、石碑を邸内に埋めて隠されました。その後、掘り起こされ現在の場所(邸内)に置かれました。



上段の間



明治天皇赤塚行在所碑

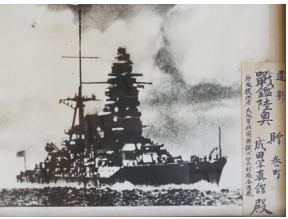


## 大慈寺の山門にある鐘は響かない!?

大慈寺の山門には、1943(昭和18)年6月に瀬戸内海で沈没した戦艦陸奥の砲塔で造られた梵鐘があります。1971(昭和46)年に海底から引き揚げられた陸奥の遺材は再利用され、放射能遮蔽材に用いられ「陸奥鉄」と呼ばれました。陸奥鉄を鋳造して造られた鋼鉄製の梵鐘を持つ寺は、全国では極めて少なく、県内では大慈寺だけです。現在、この鐘を鳴らして戦没者供養がされています。



一般的な梵鐘は青銅製が多く音の響きが長いのに比べ、この梵鐘は戦艦由来の鋼鉄製のため響き方が異なります。



戦艦陸奥



大慈寺山門

## まち歩きの注意事項

- 町には多くの方が住んでおられます。大声で話をしたり、道路に広がりがすぎて、住民・車の通行の迷惑にならないよう配慮願います。
- どこから車が出てくるかわかりません。周囲にも注意を向け、交通事故に遭わないようお気をつけ願います。
- 思い出を残すため、写真撮影はご自由どうぞ。ただし、住民プライバシーには十分配慮願います。

まち歩き  
ガイドの  
申し込み

TEL 025-264-7623 FAX 025-260-3899  
MAIL nosei.w@city.niigata.lg.jp  
担当 / 新潟市西区役所 農政商工課 (受付時間 / 平日8:30~17:30)  
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3-14-41

[編集・発行] 赤塚・佐潟歴史ガイド  
[協力] 新潟市(西区役所 農政商工課)  
発行 / 2023年9月



佐潟と角田山



ラムサール条約  
登録湿地

# 佐潟

湿地特有の自然生態系を残し、  
貴重な野生生物の生息・生育地

佐潟は流入する河川が無く、湧水と雨水で満たされています。佐潟の恵の魚類レンコン、水鳥などの収入と水田の用水として赤塚の経済を支えてきました。1996(平成8)年にラムサール条約に登録されました。ハクチョウをはじめ多くの野鳥や水生植物が四季を通じて訪れる人々を楽しませてくれます。

## 赤塚・佐潟 まち歩き ガイドマップ

AKATSUKA & SAKATA  
GUIDE MAP

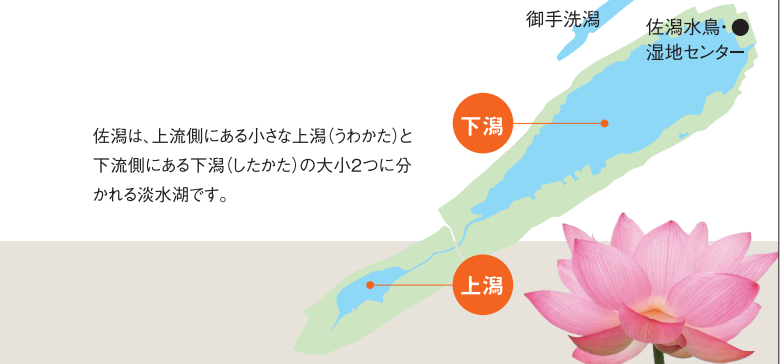
赤塚はかつて、新潟・弥彦間の「北国街道(北陸道)」の中間地点に位置し、在郷町として栄えました。

北国街道を通り、文人墨客・大名・皇族など名立たる人も訪れました。

昭和50年代まで、佐潟や御手洗潟は赤塚地域の生活の一部として利用された里潟で、潟から得られる産物は赤塚名物として知られていました。



明治時代の赤塚本村の様子  
(石黒家屋敷前から大慈寺を見る)



佐潟は、上流側にある小さな上潟(うわかた)と下流側にある下潟(したかた)の大小2つに分かれる淡水湖です。

## 佐潟のハスの花

8月の初旬頃にはお盆に向け、地元の人たちが早朝から舟を出し、ハスが生い茂る中を進みながら、1本1本花を刈り取ります。花は赤塚の商店に卸され、盆花として販売されます。



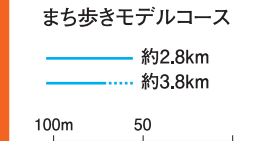
## 佐潟と新潟市の鳥「ハクチョウ」

佐潟は福島潟、鳥屋野潟とともに本市に飛来するハクチョウの代表的な越冬地で、毎年4,000羽を超えるコハクチョウが訪れます。朝に潟から飛び立つ様子や夕方に田んぼから潟に戻ってくる姿はとても見ごたえがあります。



# 赤塚・佐潟 まち歩き ガイドマップ

AKATSUKA & SAKATA  
GUIDE MAP



※マップ上のコースは当日の天候、参加人数等により変更する場合があります。



## 1 遠藤実碑・歌碑

戦時中に疎開していた遠藤実氏が、年季奉公の途中、17歳で越後赤塚から出奔して上京。初ヒット曲「お月さん今晚わ」は出奔前夜の様子をもとに作られました。

「お月さん今晚わ」の楽譜が刻まれています



## 2 潟端の道標

山崎の庄屋・伊藤家が1839(天保10)年に建立した五輪塔。下から2段目に「右ハにあかた 西ハかくた道」と刻み、道標としても使用されました。

かつては違う場所にありました



## 3 三句碑

天保年間に俳句仲間が建立した芭蕉の句碑を真ん中に、左右に地元俳人の鶴友・誠雄の句碑があります。赤塚の俳諧文化の豊かさを伺い知れます。

同じ並びにその他の石碑があります



## 16 城山

城山はこの地の小字で、戦国時代まで城(砦)があったところです。かつては小高い丘で、1600(慶長5)年の上杉遺民一揆後に廃城となったと伝わっています。

現在は畑となっています



## 15 富士浅間社

元禄年間、林角左衛門が江戸回米の途中に風雨にあい漂流し、神様に祈願し難を逃れました。帰郷後、この社が建てられました。通称「権現様」といわれています。

畑に囲まれた小さな林の中にあります



## 14 尻っぶり坂

江戸中期に開削された坂道。当時は現在より急な坂道で、登るのに切なくて思わず尻が出てしまったことから呼ばれています。

現在は緩やかな坂です



## 13 渡辺嘉助の碑・石黒家墓地

石黒家に仕えていた渡辺嘉助が、戊辰戦争時に新政府軍の馬や食料、宿の調達準備などを行った功績から、村の本百姓に認められた記念に建てたものです。

向かって右斜面がかつての尻っぶり坂



## 12 赤塚神社

赤塚の村社。毎年4月15日には赤塚太々神楽が奉納され、市の無形文化遺産に登録されています。現在の社殿は1911(明治44)年に再建されました。

大黒舞でお菓子が撒かれます



## 11 大慈寺

曹洞宗、護国山大慈寺。1604(慶長9)年に大藪に建てられたのち、江戸中期にこの地に再建されました。山門には戦艦陸奥の砲台で造られた鐘があります。

本堂裏手には石黒家の墓があります



## 10 石黒家屋敷跡

石黒家は赤塚近隣の村々13ヶ村を治める大庄屋(割元)。石垣の上に屋敷があったことから、権威の高さを表していたと思われます。

大きなタブの木があります



## 4 大藪遺跡

赤塚で最も早く集落ができた所の一つです。1989(平成元)年の発掘調査で縄文後期～室町時代の遺物が発見されています。

大藪の一部で発掘調査が行われました



## 5 天神屋敷跡

戦国時代まで、赤塚の城山という所に城(砦)があり、その城代の屋敷があったところです。岩室の天神山城の小国氏重臣が居住していたと思われる。

近くには馬場の跡があります



## 6 観音堂

室内には舟月宗胡揮毫の「圓通閣」と書かれた額があります。舟月は、江戸時代前期の曹洞宗の僧であり、西蒲区石瀬の種月寺の山号も揮毫しています。

33体の観音像があります



## 7 長五郎薬師堂

斎藤長五郎が江戸中期に米山薬師を崇拝し、薬師堂を建立しました。8代長左衛門が1831(天保2)年、不惑を祝って開いた句会の俳句の額が奉納されています。

立派な庭園の中にあります



## 8 浄恩寺

真宗大谷派。開基の澤田良信が1185(文治元)年赤塚に浄恩寺を建立。一向宗禁制のため佐渡にわたり、その禁制が解けた後、赤塚へ戻り現地に再建されました。

毎朝鐘の音が聞こえてきます



## 9 中原邸

1878(明治11)年9月16日、明治天皇が北陸巡幸の際、ご昼食をとりました。明治天皇の玉座「上段の間」をはじめ、当時の面影が残されています。

現存する明治天皇行在所



至・岩室 弥彦 ↓